



紺碧

調布稲門会 会報

2021.1 第53号

年2回(1月、6月)発行

事務局 〒182-0022

調布市国領町 7-56-14

芦澤友雄方

Tel&Fax 042-489-6507

E-mail toumonkai@gmail.com

URL (HP) <https://tohmonchofu.jimdofree.com/>

編集責任者 高原浩 柵木真也



特集・コロナとの共生 COEXIST WITH COVID-19

—「私のウィズコロナ」—

2020年は新型コロナウイルス上陸で明け、コロナ禍“第3波”襲来で暮れました。まだまだ終息の目途は立ちません。調布稲門会でも総会、観月会、新年会などの主要イベントが軒並み中止となり、同好会活動も大幅な制限を余儀なくされています。経験したことのない事態に直面し、暗鬱で窮屈な閉塞状況下にあります。それでもなんとか知恵と工夫で少しでも明るい気持ちでいたいものです。そんなコロナと対峙ではなく、どう共生していくのか、多くの調布稲門会会員から「私のウィズコロナ」について近況を報告して頂きました。(編集部・高原浩) —冒頭の組み写真はオンライン暑気払い・飲み会のPC画面から—

◆◆ Go To 尾瀬

昭37 理工 五十嵐真



2020年1月22日、テドロスがこのウイルスに対して過剰な反応は不要と言っていました。次の日、武漢が閉鎖されました。異様な感じを受け、WHOに勤務の女性の母親に電話しました。すぐにマスクとアルコールを買えといわれました。次週、両方とも売切れました。以来、マスクとアルコールにつきまわっています。10月から東京もGoToキャンペーンの対象となりました。孫娘が免許をとったので尾瀬まで運転させました。山小屋も3密対策、マスク着用でなんと鬱陶しいことでしたが、なんと宿泊料35%引きに加えてクーポン券3000円をもらいました。おかげで帰途の温泉代と土産代がでました。コロナのおかげで尾瀬の草紅葉もゆっくり楽しめました。

◆◆ 美髯? 無精髯?

昭38 法 松村啓之亮

集合住宅に住むと朝晩の階下への新聞とりすらマスクは標準装備。そこでどうせ人目に触れぬ顔なら、髯を剃らずに放

置と決めたのが5月。その実、ひそかに形を整えるなど扮装



を試みるのだが家人や孫からも不評、というより全く関心をしめしてもらえない。美髯を蓄えた枯れた翁の顔貌を想定していたのだが、鏡に映るさまは貧相な無精髯あるいは不逞の悪相。まあマスクのお陰で醜悪なものを世間に晒さず済むとは言え、もとより扮装や変装の匿名性も不要な隠居の些事。それにしても心から願うのは、マスク不要の日常が戻ることも一日も早からんことを。

◆◆ Old normal が懐かしい

昭43 教育 松野宏

New normal が叫ばれ、with コロナが避けて通れない時代、



Stay young を自分に言い聞かせています。先日江ノ島に行きましたら、お寺に幟が立っていて「ぼけ封じ」とあったのには笑ってしまいました。高齢者介護施設でボランティアのオカリナ出前演奏

を2か所で行っていましたがコロナ禍でいずれも中止となり、何とも残念です。ただいつも座敷がかかってもいいように練習に余念がありません。50代の初め、プロテスタントの洗礼を受けています。毎日曜の教会での礼拝が今ではオンライン送信となり、PC画面を見てお祈りしています。Old normalが懐かしい。

◆◆ 憂さ晴らす名演奏に感動 昭45理工 野村大也

2月以来久しぶりに東フィルの定期演奏会(観客は定員の半分)に10月22日に行くことができた。名誉音楽監督マエストロ チョン・ミョンフンの代役で事前に日本国内で2週間待機した息子のアソシエイト・コンダクター チョン・ミンが棒を振った。ベートーヴェン生誕250年を記念した交響曲第5番運命と桐朋学園に在学中のあの服部百音(モネ)ヴァイオリン協奏曲であった。最初の音出しでとても感動した。やはり生演奏は凄い、すばらしい。鬱積した気持ちを解き放すコロナ禍のリスクを忘れる夢のような一時であった。YOGAは教室が自宅に代わりZOOMを使い週1回続けることができています。

◆◆ 最適のアルコール容器は? 昭46法 堀内正之

コロナで死にたくないからアルコールを持ち歩く。まずは容器。100均で探す。アルコール耐性の問題を知り勉強した。素材はpe(ポリエチレン) pp(ポリプロピレン) pvc(ポリ塩化ビニール) pet(ポリエチレンテレフタレート) ps(ポリスチレン)。このうちアルコールに使えるのはとppだけということが分かった。化粧用の容器はほぼダメ。園芸用品で見つけた。次にアルコール。メチルがダメは知っていた。焼酎やウイスキーでは度数が足りない。というかお腹の消毒に使ってしまう。さらに勉強したね。見つけました。「イソプロピルアルコール」99.9%、480ml。約1000円。これを水道水で割って75%に。今は潤沢。昨年3月の苦労話でした。

◆◆ 老人よ、Be ambitious 昭46商 山口泉

去年3月の初め、予定のゴルフ、ウォーキングの会、飲み会が次々と中止に追い込まれる中、昔の会社仲間との神代植物公園、野川等の花見を私が幹事で企画。同僚達からこれだけは何とか実現を、と懇願され、必要なコロナ対策等を入念な事前チェックまでしました。お



りしもTVのワイドショーでは「コロナはワクチンが開発されるまで治療方法はない。若者は重症化しないが年寄りは重症化し、死亡する確率が高い。このままでは医療崩壊が起こるので、年寄りには外に出るな」などと声高に叫んでいました。結局、花見は中止に追い込まれてしまいました。年寄りの住みにくい世の中になりました。

ここで彼のクラーク先生の言葉で一言。「老人よ、Be ambitious」、皆様ご自愛下さい。

◆◆ 101歳母の経験に学ぶ 昭48理工 柴多和夫

新型コロナウイルスの正体が不明で、「ウィズコロナ」の過ごし方をなかなか見通せません。私の101歳の母は「長生きのおかげでスペイン風邪と新型コロナウイルスを両方経験できたわ」(スペイン風邪は生まれたてで覚えているはずがないのですが)と言い、毎日、テレビのニュースと新聞でコロナ禍の世間をじっくり観察しています。私も毎日をゆっくり過ごせる老人なので、「ウィズコロナ」の時を、慌てず騒がず用心しながら、そしてじっくり世間の様子を観察しながら、過ごそうと思います。

◆◆ Without コロナ社会を願う 昭48政経 仲野勝

私にとってコロナ感染拡大以降、子、孫、友人等と会う機会が激減してしまったことによる心の傷は決して小さくない。社会的な繋がりが欠かせない私達は、言葉や表情が現わす微妙で繊細な心の動きを感じとり、共鳴しあい、成長していくものであろう。長い人類の歴史の中で備わった高度な免疫システムはウイルスとの戦いの中で獲得出来た側面もあり、今後も同システムはそうしたプロセスによって一層robustな(逞しい)仕組みへと進化していくと思われる。ただそのことを認めたとしても、withコロナがもたらす前述のダメージは殊の外大きく、少なくとも日々の認識の中では、何とかwithoutコロナ社会が実現してほしいと強く願わずにいられない。

◆◆ 学生人材確保、面談で苦心 昭55法 大塚公久

縁あって数年前から岩手県の人材確保事業を手伝っており、首都圏大学の就職部門や就職担当教授を訪問し、地元の文化や産業を学生に知ってもらおう仕事をしている。4月以降は大学訪問が出来なくなり、比例



して収入もなくなってしまいました。6月からやっとオンライン面談を進め、30件超に拡大しています。ただ、オンラインでは本音で話すのは難しいですね。面談先には対面での対話を渴望している方もあり、いざ対面が実現するとストレスを解消するかのように会話が2時間に及ぶことも。頭の切り替えが進まない私はコロナ禍に歯痒さと生き辛さを感じています。一刻も早く収まることを願っています。

◆◆ 達人? 徒歩<トイレ探し 昭52法 原田教夫

コロナ禍で、3月下旬からスポーツクラブやテニスコートも使用出来ず、運動不足に直面しました。それを補おうと、入手した「調布市観光マップ」に掲載された「近藤勇と緑地コース」「深大寺と鬼太郎コース」等幾つかの推奨コースに沿って市内を回る事にしました。一万歩を目標に歩くと1時間程度は要し、水分補給は必須で、水を携帯しながらの回遊となりましたが、浮上してきたのがトイレ問題でした。この時期には「トイレ使用お断り」のコンビニもあり、公共施設の無い住宅地等を歩く場合には体調によりかなり切迫した状況に追い込まれる事もありました。その結果いつしか意識はトイレ探しに傾き、観光施設を知ろうと始めた回遊が私を市内トイレ事情の達人に変えたのでした。

◆◆ 生活一変、始発電車から 昭55法 舟久保賢一

向かいの座席に座っている人が、突然、左足首を右足の立膝の上に乗せて靴下を脱ぎ足の指辺りに薬を塗り出した。別の日、向かいの座席に座っているご婦人が頭頂部を斜め下方に向けながら頰から頭頂部に向けて櫛で髪の毛を梳きだした。いずれも西調布駅午前4時58分発の新宿行き各駅停車の車内で目撃した滅多に見ない光景である。コロナの時代を迎え私の生活は一変した。朝一番の電車に乗り、事務所に出て、午後4時4分の電車で帰路に就く。とにかくコロナウイルスは目に見えない、匂いもしない、どの位の量を浴びたら感染するのも分からない。車内でくしゃみをしたら、飛沫はどの辺まで漂うのか、前に立って会話している二人連れの飛沫をどの位浴びることになるのか。もちろんマスクしたうえのことであるが、私には皆目分からない。三密を避ける通勤は当面続きそうである。



◆◆ 息子二人の節目を迎えて 昭55教育 萩原稔



コロナ禍の今年、我が家の二人の息子に人生の節目であるめでたいニュースがありました。長男は縁あって八月末に入籍したものの結婚式は日延べとなり、今後どうするのか、新婚二人で検討中ようです。次男は就職したものの年度初めの入社式は無く、自宅待機の後、四月半ばに直接配属先に赴任してテレワーク中心の会社生活が始まりました。親にとっては結婚したんだ感がなかったり、新社会人としての成長が気になるのですが、新たな常態の中で幸せにそしてたくましく生きていけるよう今後の息子達の生活術に期待しているところです。

◆◆ WEB、WEB、私の働き方・娘の学校生活大変化

平7人間科学 山田あかね



コロナウイルスの影響で一番私の生活が変わったのは、働き方と娘の学校生活です。私は税理士をしていますが、3月からスタッフのリモートワークを取り入れ、以前は電車で動き回っていたクライアントとの打ち合わせもZOOM等のWEB会議がほとんどになりました。今年、小学校に入学した娘は4月~5月はZOOMを使ったWEB授業になりました。体育の授業も音楽の授業も私の仕事の隣で受けていましたが、6月からやっと通学できるようになりました。Webを使いこなせば、移動時間もなくなる時間的余裕も出来て良かったと思う反面、やはり会うことで共有、協力、理解できることを感じ、会うことの大切さを感じる今日この頃です。

◆◆ 今&未来へ、家族で乗り切る平21文 近藤精華



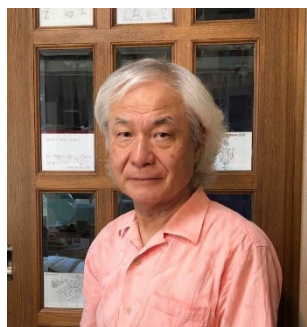
春先に書いた小2長女の作文に「レトロウイルスが胎盤を作るきっかけとなった様に、コロナウイルスも進化のきっかけになると良いと思う」とありました。大人はこのウイルスをどう殲滅させるかに思考が行きがちです。子供はなんて自由な発想を持っているのだらうと驚きました。我が家にとって自粛・休校期間は家族の絆が深まった楽しい時間でもありました。秋に第二子も産まれました。コロナが終息するまで時間がかかるでしょう。でも、苦しみばかりに目を向けず「今」や「未来」を大切に家族で笑い合って乗り切りたいと思います。

調布稲門人

第5回 ある時はプロのミュージシャン ある時は凄腕のIT技術者 ある時はウッシー???

潮田健太郎(うしおだけんたろう)さん(69) 昭52理工院 <取材・構成 編集部・高原浩>

キーボードの調べと独特のハスキーボイス。調布稲門会の新年会、総会など折々の集まりの会場で一度はお聞きになったのでは? ウッシーこと潮田健太郎さんの演奏を。



自称“柴崎城の王子様”、しかし傍目には“柴崎の怪人二十面相”と映る。普段は個性派俳優の木下ほうか似(?, 写真上)の中年の普通の小父さん。しかしいったんステージに上がれば聴衆を魅了するプロミュージシャンに変身、そして本業(?)のIT技術者にもなって辣腕を発揮する、等々。この人の正体はなかなかつかめない。ちなみに暫く開店休業状態だった調布稲門会のホームページを独力で修復・復活させ、最近ではコロナ禍対策で始めた稲門会のリモート会議の主宰者もウッシーさんだ。

ただ何と云っても潮田さんの肝は音楽にある。東京・世田谷区出身、都立青山高から早大理工学部電気通信学科へ。情報工学専攻で修士課程修了。幼いころから音楽好きな母親の影響もあり、家にあるピアノを自己流に弾いていたが、高校ではラグビー部員、音楽にはしばらく無縁の状態が続く。大学生になって改めてピアノに目覚め、音大の先生についてクラシックを基礎から練習し直した。

大学在学中は当初、家庭教師と広告代理店のバイ

トに忙殺されたが、3年になってシャンソン研究会から勧誘され、女性も多く居心地がよさそうなのですぐ入会。ここにはモダンジャズ研究会の先輩も遊びに来ていてその伝手で音楽事務所を紹介されまずは郡山のナイトクラブのピアニストとして“デビュー”。その後、都内のナイトクラブを転々としたが、学部授業、大学院受験、修士論文、学会発表をこなした。「周りは会社なんか絶対就職しないと私を見ていたようですが、一旦はきっぱり足を洗いました」。メーカー5社を渡り歩き、メカトロニクスハード開発技術者などを歴任して定年を迎える。いまもパートで特許事務所の技術コンサルタントをしている。



ただ好きな音楽は切り離せない。歌謡曲をジャズ風にアレンジした「無国籍懐メロ」のスタイルを編み出した。

「今若いミュージシャンが昭和歌謡に注目しているが、私はその走り」だとか。コロナ禍の前までは年に2、3回のライブ、月に1、2度のセッションをこなしてきた(写真中)。名門ライブハウスで有名ジャズマンとの共演もさせてもらった。

「音楽という人生の無駄にのめり込むのが格好いい、そんな考え方をするのがミュージシャン。皆さんも音楽は音楽であって音楽でしかない、音楽にメッセージなんか求めないで、ただの音の遊びとして、アホになって楽しみましょう」。ウッシーらしい結びの一言になんとなく納得してしまうのだった。

記念誌の発行など設立40周年記念事業固まる

40周年事業企画特別委員長 石田欽也(昭55商)

2021年10月1日の調布稲門会設立40周年に向けた記念事業の概要を固めました。町内会単位での会員交流、市内福祉関連団体などと協力した地域貢献、会報記念特別号の発行、記念誌(小冊子)の発

行、記念パーティの開催などです。コロナ禍のため何をどのタイミングで実施出来るかはまだ手探りの状態ですが、「出来ることは躊躇なく進めていく」方針です。事業企画の内容についてご紹介します。まず会の理念である「会員相互の親睦に努める」、「地域社会に貢献する」、「大学の発展に寄与する」

を市内の同窓非会員にも強力に訴求して新規会員・準会員増強に努めます。40周年だからといって特別に新規事業を立ち上げるのではなく、この基本理念を一步進めることを指向していきます。

会員相互の親睦では、新たに町内会単位で会員・準会員が連携できないかなどを模索していきます。地域社会への貢献では、労務提供による貢献が望ましいとの考え方で、調布市をはじめ、社会福祉協議会、フードバンク調布など各種団体と連携していきます。パラリンピックで何か貢献できないかも模索していきます。

会報「紺碧」第54号(6月発行予定)を40周年記念特別号(会員内外)とし、会の理念・活動内容を改めて周知してもらう内容とし、市内同窓非会員



にも郵送して入会を促します。また設立40周年記念誌(会員限定)は、会員・準会員全員から原稿を募り、小冊子の形式で編集するもので、会員が相互を良く知り合うツールとします。内容は母校・稲門会活動に関すること、趣味に関すること、地域活動に関すること

等何でも良く、コロナ禍の中で会員相互に潤いをもたらす1冊になることを期します。

さらに設立40周年記念グッズの製作配布。これには「調布稲門会」の名入れをします。設立40周年記念パーティ開催については、新型コロナウイルス感染症の動向次第ですが、開催のGOサインが出れば、調布クレストンホテルで華々しく開催したいと思いません。(写真は委員会での打ち合わせ風景)

調布稲門会会長新年ご挨拶

山田和子(昭49文)

新年あけましておめでとうございます。2020年は全世界が新型コロナウイルス感染に翻弄された一年でした。会員・準会員の皆様におかれましては、2021年を新たな気持ちで、健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

コロナとの共生は、奇しくも本年10月設立40周年の節目を迎える調布稲門会組織作りと時期が重なり幸運でした。町内単位の会員交流・親睦、インターネット活用の推進、若い世代中心のE-会員制度そして地域貢献活動を具体的に進めていきます。本年の干支にふさわしく、一步一步着実に、そして来年の五黄の寅年に繋いでいきます。

コロナの終息を願いつつ、皆様のこの一年のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



トピックス

「学生応援フードパントリー調布」、稲門会も協力

新型コロナウイルス禍長期化で、多くの学生が安定したアルバイト収入を失い、食事への影響も深刻です。8月に府中市でのフードパントリーを見学し、調布市の学生も支援しなければという思いで調布市社会福祉協議会に足を運び、フードバンク調布、子ども食堂、電通大ボランティアグループの協力の下10月14日サレジオ修道会ユースセンターにて第1回「学生応援フードパントリー調布」を実施しました。困窮学生に食料(米・缶詰、野菜等9.7kg/人)を配布。参加学生82人。緊張し会場に現れた学生達も、「こんなにももらえるの?」と量の多さにとっぴり。こちらも笑顔に。

食料品の他489,000円(内稲門会関係者様より194,800円)のご寄付を頂き、内222,702円は第1回フードパントリーの野菜購入等資金となりました。ご協力に感謝致します。残金と皆様からの今後のご寄付で、2回、3回とフードパントリーを続けていく所存です。第2回は2月6日社会福祉協議会にて開催予定。学生達が健康を維持し、学びを継続できるように引き続き皆様のご支援をお願い致します。(山田和子)

元気はつらつ！同好会だより

◇元気な仲間が着実に増加、比較的若い参加者も

硬式テニス同好会代表 保科哲也(昭45法)

昨年はコロナ禍のせいで、3月下旬から5月初めまでテニスコートが閉鎖されましたが、その後はいつもと変わりなく、元気にテニスを再開しています。参加者の間でラブロマンスが生まれることも、「半沢直樹」みたいな土下座騒ぎもなく、特に話題はないので、役所の書類のように淡々と素っ気なく、現状を報告します。40代から80代までの男女が楽しく気軽に毎週月曜と金曜日の午前中に市民コート(多摩川、深大寺)でテニスを楽しんでいます。稲門会会員というワクを超えて、多種多様な方が参加しています。出身学校、性別、年齢、職業、肌の色、人種、LGBTなど、一切関係なく、誰でも参加できる、多様性溢れる同好会です。毎年、新たなテニス仲間が着実に増えています。例えば、2011年11月の参加者数は、全部で20人でしたが、2020年11月は31人まで増えました。

ただ、次第に高齢化が進み、体力の衰え、病気、物忘れ、足腰の痛み、お腹周りのサイズ拡大、失った髪の毛の本数、散歩を徘徊と間違われる回数、テニス中のゲームカウントの勘違いなどの症状が現れてきて、心配していましたが、最近比較的若い参加者が増えつつあるので、少しずつ代替わりの兆しがあり心強いです。



懇親会を年に2回(暑気払いと、忘年会<写真、2019年12月17日開催>か新年会)開いていて、コートを離れてもみんな仲良い友達です。昨年はコロナ禍で懇親会を開けなかったですが、今年は桜が咲く頃が無理なら、遅くとも暑気払いとして美味美酒を味わいながら、笑顔で会話を楽しみたいと思っています。

◇コロナ禍で昨年はフラダンス・イベントすべて中止

フラダンス同好会代表 大谷裕子



まず2019年のイベントからご紹介します。3月調布市主催「生涯学習体験発表会」、6月希望の家「地域のつどい」、7月ソノポの家「夏まつり」、9月島田きみ子主催「真夏のアフタヌーン・フラ・フェスティバル」、10月つつじが丘「地域のつどい」、11月調布市民文化祭「ハワイアン・フラ・フェスティバル」(写真)。

2020年は年明けから少しずつ新型コロナウイルスが暴れだしたと思ったら感染者があつという間に増えていきました。マスクが必需品となり、その感染力の強さ・スピードの速さに恐怖を感じます。私たちフラダンスのイベントも「年内、すべてキャンセルになりました。「自分の身体は、自分で守る」をモットーに、フラダンスの仲間の元気な顔を見てはほっとしていると同時に、「励まされ、勇気づけられているのが何よりの活力」と、感じられるのが一番の喜びです。日本全国・全世界の人々が自由に活動できる日が、早く来ますよう、みんなと頑張っていきたいと思います

◇芸術家など著名人の墓地巡りー多磨霊園散策ー

女性の会 堀井時枝(昭41教育)

2020年11月8日多摩川クリーン作戦に参加した女性の会3人(山田和子さん、濁川マサさん、堀井)はその足で多磨霊園に向かいました。園事務所で案内書を入手し、少しの空腹と喉の渇きを充すのと、霊園に眠る150人余の著名人の中から今日、巡る所を選ぶために入った門前の喫茶店は、ピザトーストとコーヒーが美味で、雰囲気も良かった。

一番に向かったのは向田邦子の許。2021年に没後40年になる彼女が今の日本の様子を見ていたらなんと評したでしょう。続いて岸田劉生、与謝野鉄幹・晶子、尾崎秀実、北原白

秋、有島武郎、中島敦の墓を探し、抜けるほどの青空の下、39万坪の広大な墓地を巡りましたが、岡本一平・かの子・太郎一家の三つの墓はそれぞれ個性的で元気がもらえる不思議な空間、パワースポットでした。(写真)

そして今なお花いっぱいゾルゲの墓を最後に今回の散策を



終えましたが、妙にいろいろ考えさせられる充実した時となりました。この時期、霊園なら密にはならないので散策してみても如何でしょうか？

◇「食の国際儀礼」講座と「モルドヴァ講座」開催

語ろうアースカフェ代表 山田和子

コロナ禍で延期していた「知っておきたい食の国際儀礼」全2回(10/3、11/7)を定員50人(通常100人)で開催。講師は昨年6月に20年の集大成として「世界の郷土料理事典」を上梓された世界の郷土料理研究家青木ゆり子氏。イスラム教のハラール、ユダヤ教のコーシャ、キリスト教の肉断食などの食規定と文化をお話しして頂きました。このテーマでの講義はまだ珍しく、参加者は熱心に聴講していました。

モルドヴァ講座「黒海の近くのブドウ園とワインの国」は第1回10/31(地理、自然、歴史)、第2回11/14(民族・言語の交差点)を終了。講師のウジーニン・エフゲーニー氏は言語学博士。現在のルーマニア、ブルガリア、ウクライナ、南ロシアにまたがる民族・言語の解説は興味深く、コサック集団の考察が新鮮でした。コサック集団をテーマの講義を新たにお願しました。第3回1/16(伝統や文化の万華鏡の国)、第4回2/6「百聞は一見に如かず」(アイヌ文化と研究を含めた日本生活体験談)は緊急事態宣言を受け延期しました。

トピックス

◇オンライン・リモート会議、本格利用開始

コロナ禍対策を兼ね、調布稲門会も将来に備えてWEB利用の会議を本格的に始めました。まず実験的に2020年8月30日(日)午後8時～「オンライン暑気払い」(参加者9人)を、次いで2回目を同年10月24日(土)午後8時～「やっ

てみようオンライン飲み会」(同11人)を本格実施。さらに3回目12月19日(土)午後6時～「オンライン忘年会」で2020年の締めとしました。一杯やりながら、バカ話やまじめな話、愛犬愛猫などペット登場、お気に入りのグッズの見せ合い等々、毎回、いろんな話題で盛り上がりを見せ、あっという間に予定の2時間を過ぎました。

このリモート会議はビデオ会議システムのGoogle Meetのソフトを使ったもので、PCかスマホで参加できます。画面上に参加者が並んで表示され、参加者は入れ替わり立ち代わりもできるし、途中からの入退場も可能。コロナが長引く中で会員の巣ごもり生活の窮屈さ解消や、稲門会の各種会議・打ち合わせのツールとして役立つことが分かったので、折に触れ活用していく方針です。やってみて有用なだけでなく「楽しく面白い」ので未経験の皆さんもぜひ参加してみてください。

(編集部) <関連写真=1ページ冒頭に>

◇秋の多摩川クリーン作戦再開、9人が参加

副幹事長 天野凡子(昭56文)

2020年11月8日、京王多摩川駅近くの河川敷で実施された多摩川クリーン作戦に参加しました。昭和54年に始まり今回で81回を数える市民に根付いた活動です。直近の2回は大型台風による被害や新型コロナウイルス禍のため中止でした。

今回のミッションに気合を入れて集まった9人の雄姿をご覧ください



(写真、長友貴樹市長も記念撮影に飛び入り参加=後列中央)。成果はと言えば、河原は普段から安全と美化に注力されているようで、拍子抜けするほどきれいで大きなゴミや障害物はほとんどありませんでした。それでも晴れ間も見えた秋の朝、多くの子供達(野球少年やサッカー少年)や市民グループの方々と一緒に、調布稲門会として活動できたことはとても良かったと思います。この活動に関心を持っていただけましたら、次回2021年春のクリーン作戦にぜひご参加ください。どうぞよろしく願い致します。

参加者 明石純一、芦澤友雄、天野凡子、関口憲三、濁川マサ、萩原稔、堀井時枝、山口泉、山田和子



2020年11月21日(土)、コロナ禍の晴れ間を縫って野川クリーン作戦。稲門会参加者(左写真)と、三田会との恒例記念撮影(右写真)

令和2年度調布稲門会 年会費お支払いのお願い 会計担当 坊野美代子 明石純一

令和3年3月末で今期の会計年度は終了となりますので、年会費未納の方は至急お手配下さいませようお願い申し上げます。

この紺碧第53号お届け時に郵便払込み票同封の方が未納会員です。

年会費振込先 口座名「調布稲門会」 みずほ銀行調布支店 普通 0997965

<編集後記> スペイン風邪以来100年ぶりの悪疫に世界中が動揺しています。いまネガティブな意味での歴史的な出来事を継続的に体験しているわけですが、人間として当たり前の生活ができないことが辛い。できなくなって初めて、普通の生活がいかに大切か分ります。少々大げさに言えば戦争体験とも似た要素があるかもしれません。今号特集ではそのコロナ禍と会員がどう向き合っているか、多くの皆さんから近況をお寄せ頂きました。稲門会のネットワーク・仲間とのつながりを改めて意識してもらい、連帯感を少しでも高めて頂ければ幸いです。(高原浩記)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 元祖 嶋田家 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>「露ろろアースカフェ」代表 山田和子 (調布稲門会会長) 自宅 〒182-0035 東京都調布市上石原3-39-15 電話 042-488-0741 E-mail: kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</p>	<p>林建設株式会社 取締役社長 林 清一 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 株式会社住まいるスズキ 代表取締役 鈴木光孝 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p>新技術 UV プリント 立体物などにフルカラーでダイレクト印刷 記念の贈答品やオリジナル製品をお求めの方に 名刺・ショップカード・ポストカード 記念誌・自費出版・アルバム等 印刷 株式会社 内田平和堂 ☎ 03-3300-7301</p>	<p>イベント・パーティー (株)正直屋グループ 住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-10 電話 03-3853-1171 FAX 03-3853-1493 http://www.shojikiya.co.jp/</p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内綜合法務事務所 行政書士 堀内正之 〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p>舟久保法律事務所 弁護士 舟久保 賢一 住所 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8 親和ビル5階 電話 03-6273-7917 FAX 03-6273-7918</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 調布クレストンホテル 住所 〒182-0026 調布市小島町1-38-1 調布バルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 http://www.crestonhotel.jp</p>
<p>早稲田大学賛助商議員 調布稲門会 顧問 元木 勇 自宅 〒182-0003 調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋沢 淳雄 住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 http://www.okomekan.net/</p>	<p>早稲田大学賛助商議員 調布稲門会 顧問 椎原 大典 自宅 〒338-0004 さいたま市中央区本町西4-17-25 コンフォール与野本町西501号 電話・FAX 048-853-8223</p>